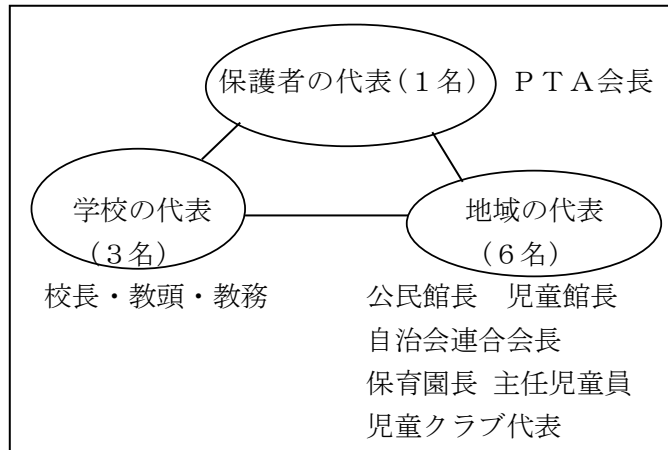


1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

- 第1回 (6月)
- ・スクールプランについて
 - ・地域との連携事項について
- 第2回 (12月)
- ・教育活動の進捗状況について
 - ・授業参観
- 第3回 (2月)
- ・学校評価について

地域コーディネーター (3名)

松本地区自治会連合会長 松本公民館長 PTA会長

(3) 協議会における成果と課題

年度当初、スクールプランについて説明をすることによって、学校が抱える諸課題について家庭や地域との共通理解が図られ、理解と協力を得ることができ、意見を教育活動に生かされた。また地域コーディネーターを兼ねているメンバーの支援を受けやすかった。課題として、今年度の学校評価では、挨拶に関する項目の評価が低かったため、児童がすすんで挨拶できるように協議会において対策を考えていきたい。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

地域の施設、歴史を調べる活動や地域の人々と主体的に関わる活動を主に3～6年生の各教科および「総合的な学習」の時間で推進し、学習の成果を地域の良さを実感できるようにする。

(2) 活動の実際

① 「松本っ子 夢プロジェクト」(6年生)

保護者や地域の方をゲストティーチャーとして招き、身近な人から仕事についての話を聞くことで、仕事に対する楽しさや難しさ、やりがいなどを学んだり、いろいろな職業について調べたりしたことをまとめ、校内に掲示した。



② 「つたえよう！松本のまちじまん」(3年生)

自分達の住む地域に残る伝説や旧跡について調べる活動を通して、地域の一員だという自覚をもち、地区の宝を「まちじまん」として地域を誇りに思う学習活動を実施し、2月にいろいろな表現方法で発表会を実施した。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・地域の施設や歴史を知る人材の紹介
- ・地域で自営業を営んでいる人材・事業所の紹介・仲介
- ・児童が参加できる場の提供
- ・取り組みの振り返りと次年度の取り組みについての意見交換や提案

(4) 特に工夫した事項

- ・中学年の町探検や見学学習・校外学習の記録にグループに1台ずつデジタルカメラを持ち、学習に必要な画像を集めた。
- ・グループで話し合いながら意見や考えをまとめたり、黒板に掲示して発表したりするためにA3判ホワイトボードを用いた。話し合いの流れに沿って書いたり消したりを繰り返すことで、児童のアクティブな思考を促す一助となった。
- ・学習の導入や発表会では拡大印刷した写真や実物投影機を用いて提示することで、児童の興味や関心を高め、わかりやすく表現できた。

(5) 成果と課題

身近な今日的課題を設定したことで、学年の実態に合った指導計画に基づいた学習が進められ、児童が最後の発表まで意欲をもって学習に取り組むことができた。さまざまな機器を用いて発表したり掲示物を作成したりすることで、いろいろな学習のまとめ方が表現できた。また、児童に身近な人から話を聞いたり、人とともに活動したりすることで、地域に魅力を感じたり、貢献する充実感をもったりしたようである。地域の施設や歴史だけでなく、人とのつながりも地域の自慢の一つに加わったようだった。

しかし、まとめの時期が年度末になり、地域の人に学習の成果を示す場づくりができなかったことが課題として残った。